



## 心臓が、一つしかないのはなぜなの

### 一つでも、立派に役割をはたしている

「肺や腎臓などは二つあるのに、心臓が一つしかないのはなぜか」、ということ、疑問に思う人がいるようですが、これには、別に理由はないのです。

確かに、心臓は一つしかありませんが、立派に役割をはたしており、人間の体の器官の数や位置については、わたしたちは、ただあるがままに受け取るしかないのです。

### 心臓は胸の中央にある

人間の心臓は、お母さんのおなかに、命がめばえて18～19日ごろにはできはじめます。そして、生まれたときには、心臓はもう胸の中央にあり、ちゃんと動いています。ですから、よく、「人間の心臓が左にある」と思っている人がいますが、これは、誤解なのです。

ただ、心臓はまっすぐに立っていないで、ななめ横になっており、下のはし(心尖といひます)が左によっていて、しかも胸の前のほうの皮下に近づいているため、ここで心音が最もよく聞こえます。そのため、“心臓は左側にある”と思いきまれました。

(監修・保志 宏)

